



きらりいのちをめぐす
市民派・無所属・れいわ
野村 羊子 議員



子どもたちに第3の居場所の設置を

サードプレイスは必要と認識するがご提案の土地について答弁は控える

議員 株式会社コスモスの保育園建設費補助金不正受給については様々な報道がある。補助金返還にごまかない対応が必要では。
子ども政策調整担当部長 現時点では当該株式会社からの正式な説明や報告を受けておらず返還額や時期は未定の状況だ。意図的なものか否かの判断も踏まえしかるべき対応を検討する。
議員 不登校の子どもやその保護者への更なる支援と配慮が必要だ。子どもに寄り添い対応する不登校専任教員の配置と保護者同士の情報共有の場を設置することについて所見を伺う。
教育長 専任教員の配置については人財の確保や財政面などの課題を整理しつつ他自治体の事例も参考に検討したい。また、保護者が話



都民ファーストの会
原 めぐみ 議員



小学校における英語教育の強化を

教員の指導力の向上を図るとともに専科教員や地域の人財を活用する

議員 グローバル化が進む中で英語教育の必要性は増すばかりだ。小学校での指導を強化するとともに、一部の学校で行われている、国際基督教大学の学生や英語が得意な地域人材の協力による学習活動を全市的に

間で生きた英語学習ができる東京グローバルゲートウェイが立川市にもできた。学校単位で活用すべきだ。
教育部調整担当部長 昨年度に利用した2校の実績を共有し、同施設の活用を更に検討していきたい。
議員 学童保育所の入所要件に当てはまらない短時間で勤務の家庭のニーズに耳を傾け、希望する全ての子どもが入所できるように要件を緩和するべきだ。
市長 定員の上限に達している学童保育所が多い現状から、入所要件の緩和については申込状況の推移や定員の拡充状況を見ながら慎重に検討する必要がある。



都民ファーストの会
山田さとみ 議員



井口特設グラウンド利用者の声を聴け

グラウンドの整備に当たっては利用団体等の意見や要望を聞き進める

議員 井口特設グラウンドの土地利用については説明会にとどまらずアンケートやワークショップ等、より幅広く丁寧に意見を聞きながら検討を進めるべきだ。
市長 これまで説明会や広報等で説明を行ってきたが今後もこれまで以上に對話の機会を設け、具体的なご意見等を伺っていききたい。
議員 グラウンド面積減少への対応として学校3部制の議論を加速し、校庭の更なる開放を検討すべきだ。
教育長 学校3部制による開放拡大は限定的かもしれないが学園単位での開放等

動務の家庭のニーズに耳を傾け、希望する全ての子どもが入所できるように要件を緩和するべきだ。
市長 定員の上限に達している学童保育所が多い現状から、入所要件の緩和については申込状況の推移や定員の拡充状況を見ながら慎重に検討する必要がある。
議員 学童保育所の入所要件に当てはまらない短時間で勤務の家庭のニーズに耳を傾け、希望する全ての子どもが入所できるように要件を緩和するべきだ。
市長 定員の上限に達している学童保育所が多い現状から、入所要件の緩和については申込状況の推移や定員の拡充状況を見ながら慎重に検討する必要がある。



無所属
半田 伸明 議員



返すべき借金の整理をまずは履行せよ

将来の財政状況を踏まえ、井口特設グラウンドの一部維持を決断した

議員 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ事業で大きな借金が発生した当時、社会教育会館用地、総合保健

があった。社会教育会館用地と総合保健センター用地は決着したが、井口特設グラウンドはまだである。市長が副市長時代の話であるが、その後市長になったからといって、先の説明を覆してはならない。やりた政策をやる前に過去の説明を履行すべきだ。
市長 井口特設グラウンドは、多くの市民の長期にわたる利用があったこと、防災・減災の都市づくりを



つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 議員



子どもの体力向上に朝の校庭の開放を

全校で実現可能な仕組みづくりと学校施設の更なる活用を検討したい

議員 スポーツ推進計画2022(第1次改定)の改定に当たり、健康づくりの観点を加えた指標設定と部署間の連携が必要だ。
市長 健康都市みたかの実現に向け、新たな指標の検討を視野に入れた事業効果の検証を図るとともに、各部署が連携し高齢者、障がい者等様々な市民が運動に親しむ機会をつくりたい。
議員 特に女性はライフステージによって使える時間が左右され、運動の継続が難しい場合が多い。ライフステージごとに多様な運動機会を提供すべきだ。

層推進する必要性があることと、今後こうした適地の確保は困難であることから、一部維持の決断に至った。その後、コロナ禍において感染対策を担う市内医療機関の重要性を再認識し、医療機関を誘致する土地利用構想を取りまとめた。この決断に当たっては、公債費が減少傾向にあることや償還期間の短縮など利息負担軽減の枠組みを含め、丁寧に説明してきたところだ。
議員 スポーツと文化部長 20代40代のスポーツ実施率が低いことから、実施率向上に向けて事業を検討したい。
議員 子どもの体力低下の課題解決には、体を動かす時間や空間をつくるのが有効だと考える。朝の時間を有効に活用し、校庭や体育館の開放事業を実施することについて所見を伺う。
教育長 学校と地域子どもクラブの連携を強化し、朝を含めた施設開放の拡充に向けて検討したい。
その他の質問 学童保育所での宅配弁当サービスについて



日本維新の会
中泉きよし 議員



子育て支援施策を大胆に展開せよ

子どもの森の整備など、子どもを真ん中に置いたまちづくりを進める

議員 子育て支援施策を大胆に展開せよ。子どもの森の整備など、子どもを真ん中に置いたまちづくりを進める

議員 家庭の経済状況などによって、子どもの成長環境に大きな格差を生んではいられない。これこそが政治の最重要責務と考える。将来的には義務教育課程における保護者負担は制服等学用品費を含め無償化をすべきだが、まずは象徴的な給食費無償化について伺う。
市長 国、都、市ではそれぞれ役割が異なり、全国展開すべきことは国がすべきだ。各自治体にはそれぞれの事情があり、何を優先すべきかは、それぞれの自治体の中で決定していくことと考える。

議員 本市が目指す子育て支援策の大きな方向性と何としても実現したい施策、国や他自治体に比して特に市長が強く推し進めようと考えている施策等があれば伺いたい。
市長 子育てに関して言えば食の問題や虐待の問題等のない自治体を目指すべきと考える。同時に子どもや家庭を持つとする大人が夢を持つことも非常に大切なことと考える。子どもの森の構想はまさに子どもを真ん中に置いたまちづくりを進めることの重要性を示すものだ。



参政党
蛸澤 征剛 議員



脱マスクで健全な学校環境を整えよ

コロナ禍の不自由な学校生活を経た子どもの心の健康回復に努める

議員 新型コロナウイルスの流行後も、学校現場では多くの子供たちがマスクを着用している現状がある。発達段階にある子どもたちは目元だけで相手の気持ちを読み取ることが難しい。マスクをし続けることの影響について認識を伺う。
教育長 子どもへの悪影響は懸念しており、マスク着用は求めないことを基本に表情が見えるコミュニケーションを大切にしたい。
議員 教室でマスクを外さない先生もおり、クラス間で差があるとも聞く。教育委員会として、学校へ指導

するべきではないか。
教育部長 学校教育活動においては基本的に着用を求めないことと併せ、本人の意思に反して着脱を強いることがないよう配慮することなどを指導していく。
議員 新型コロナウイルスワクチン接種後の子どもの死亡事例が報道される中で、市は今後も子どもへの接種を続けるのか。
保健医療担当部長 子ども自身が接種を判断することが難しいことを踏まえ、適切な情報提供に努めながら保護者からの相談等に対して丁寧に対応していく。

市議会は公開されており、本会議当日に市役所3階議会事務局で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます(ただし、児童及び乳幼児については議長の許可が必要となります)。